

評価細目の第三者評価結果 (保育所、地域型保育事業)

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果	コメント
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	理念・目標・方針はホームページ・パンフレットへの掲載、各保育室への掲示等を通して周知が図られている。ぶれない姿勢を共有しながら運営を進めるよう取り組んでいる。

I-2 経営状況の把握

	第三者評価結果	コメント
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	市内の施設長会に出席し、取り巻く環境の状況を把握している。また市内に法人内の保育園があり、行事の見学、定期での会合等を通して情報共有を図っている。
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	開設より2年が経過しようとする中、運営の安定がもたらされている。更に職員の採用・育成に注力する意向をもっており、職員の労働環境向上に対しても意識に努めている。

I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果	コメント
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	中長期の計画書は明示されていないが、法人の保育運営指導部による巡回や指導により1つの芯を持ちながら運営がなされるよう取り組んでいる。
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	年度の事業計画書、全体的な計画、保健計画、食育計画、行事計画等が策定されている。事業計画は、運営、衛生・安全、保護者、財務等の項目別に考察がなされている。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	運営・保育については法人からの指導および園内での話し合いをもって各種計画の策定がなされている。振り返りによる改善と認識の統一をもって進捗が図られている。
I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a	園だよりへの掲載・保護者会での説明等により運営への理解を深めてもらえるよう取り組んでいる。また日々の送迎の際に一人ひとりとのコミュニケーションを心がけている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果	コメント
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	保育運営指導部による巡回後には指摘事項等を含め、指導がなされている。また職員による自己評価とセルフチェックが定期で実施されている。

<p>I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。</p>	<p>a</p>	<p>謙虚な姿勢を持つ職員が多いことから振り返りの機会には、頑張っていることにも注目し、職員のモチベーションのアップに努めている。会議等の話し合いにより都度改善策の検討等に取り組んでいる。</p>
--	----------	--

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果	コメント
<p>Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。</p>		
<p>Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。</p>	<p>a</p>	<p>職務分担・職務権限については一覧にしており、細かく役割分担がなされている。今後も職員間のコミュニケーションを大事にし、チームとして更に機能していくことを目標としている。状況等の変化に即応し、職員の負担についても柔軟に対応する意向をもっている。</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。</p>	<p>a</p>	<p>個人情報保護等法令に即し、適切な運営にあたっている。労働基準法・著作権法についても更に見識を深め、環境の整備にあたる意向をもっている。</p>
<p>Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p>		
<p>Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。</p>	<p>a</p>	<p>担任を持たないフリーで動ける職員を複数配置しており、クラスのフォローにあたりながら安定した運営がなされるよう体制が整備されている。</p>
<p>Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。</p>	<p>a</p>	<p>法人および管理者は、予算・人事において把握し、適切かつ安定した運営がなされるよう管理にあたっている。玩具等については職員の意見を集約し、必要の是非を確認しながら購入にあたっている。</p>

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果	コメント
<p>Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。</p>		
<p>Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p>	<p>a</p>	<p>求人にあたっては幅広いチャネルを活用し、人材確保に努めている。法人のノウハウにより効率的な採用方法が検討されており、安定した人員配置となるよう取り組んでいる。</p>
<p>Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。</p>	<p>a</p>	<p>自己評価および他者考課がなされており、職員のモチベーションと能力の向上に取り組んでいる。今後は考課者と被考課者との認識の共有と考課者訓練を課題として取り組む意向をもっている。</p>
<p>Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。</p>		
<p>Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p>	<p>a</p>	<p>時間外労働・有給休暇の取得については管理簿により記録・把握している。職員のライフスタイルの変化に対しても法人として対応し、長く働いてもらえる環境の整備に努めている。</p>
<p>Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</p>		
<p>Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>自己評価を実施し、振り返る機会を創出している。目標の設定・面談による指導等職員育成に取り組んでいる。</p>

Ⅱ－２－（３）－② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	マナー・コミュニケーション等基本事項に加え、専門的なリトミックの講習など幅広い研修が実施されている。
Ⅱ－２－（３）－③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	職員のキャリアや受講歴を確認し外部研修の派遣が決定されている。来期は多くの外部研修派遣が予定されており、職員配置を考慮しながら進める意向を持っている。
Ⅱ－２－（４） 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
Ⅱ－２－（４）－① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	実習生の受け入れ要項等が整備されている。各種学校との繋がりが形成されており、今後は実習生の受け入れを徐々に増やしていく意向をもっている。

Ⅱ－３ 運営の透明性の確保

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ－３－（１） 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
Ⅱ－３－（１）－① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	園のホームページが開設されており、理念・目標のほか、写真を使用し園の内外観を紹介している。「園の様子」と題してブログ形式にて日々の活動を紹介しており、保育内容等を確認することができる。
Ⅱ－３－（１）－② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	税務・労務の専門家による指導、経理をはじめとする諸規程の整備等により適切な運営に取り組んでいる。

Ⅱ－４ 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		
Ⅱ－４－（１）－① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	ハロウィンの際には地域の商店に協力を依頼するなどの交流がなされている。今後は地域の方々を園の行事に招待するなど更に親睦を深めていく意向を持っている。
Ⅱ－４－（１）－② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	行事の際に歌唱等にて参加をしてもらうなど温かな協力を得ている。絵本の読み聞かせや就労体験などの受け入れについても検討対象としている。
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		
Ⅱ－４－（２）－① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	児童相談所等関係機関と連携し、子どもの福祉の向上に寄与するよう努めている。また行政からの案内等を園内に掲示し、様々な社会資源が活用できるよう周知を図っている。
Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ－４－（３）－① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	b	AEDを設置しており、消防局による救命講習の受講がなされている。子どもたちばかりでなく地域の方々の安全に貢献できるよう取り組んでいる。
Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている。	b	開園より2年が経過する中で今後は公益的な事業への参加等も課題としている。法人グループとして地域貢献を果たす意向を持っている。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-1-（1） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-（1）-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	自己評価、セルフチェック、会議等での指導を通して共通理解の醸成に努めている。園としての方針を徹底し、子ども・保護者との信頼関係を基盤にした保育に取り組んでいる。
Ⅲ-1-（1）-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a	虐待防止マニュアル・就業規則等を整備し、利用者の権利養護を保障している。職員が相互に留意しあえる環境を構築し、安心して子どもを預けてもらえるよう取り組んでいる。
Ⅲ-1-（2） 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。		
Ⅲ-1-（2）-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	公開保育時に園の説明を行い利用希望者への説明を行っている。希望者から多い質問については「Q&A集」をつくるなど配慮をしていく意向をもっている。
Ⅲ-1-（2）-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a	入園時には合同の説明会を開催し、重要事項説明書を使用して説明にあたっている。特に利用時間、送迎、体調変化時の対応等については理解しやすいよう説明に努めている。
Ⅲ-1-（2）-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a	転園等については、移行先からの相談に応じるなど対応に努めている。今後卒園生も増えることからより小学校との連携に注力していく意向をもっている。
Ⅲ-1-（3） 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-（3）-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	行事後にはアンケートを実施し、保護者の意向の把握に努めている。保護者の意向に隠れることなく、子どもたちが主体となるよう考察と分析に取り組んでいる。
Ⅲ-1-（4） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-（4）-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	重要事項説明書には苦情担当者・責任者の氏名および行政の窓口、第三者委員の氏名が記載されており、苦情解決体制が整備されている。
Ⅲ-1-（4）-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a	運営委員会を定期で開催しており、保護者からの意見を集約する仕組みが構築されている。費用のかかるものについては事前に意見を聞くなど配慮に努めている。
Ⅲ-1-（4）-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	保護者とコミュニケーションを図り、園の方針や考えを伝えながら理解を深めてもらえるよう努めている。管理職が日々送迎時に顔を出し、何でも相談できる環境をつくっている。
Ⅲ-1-（5） 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-（5）-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	危機管理・災害・水害・不審者対応等の各種マニュアルが整備されており、リスクへの体制が整備されている。

<p>Ⅲ－１－（５）－② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>感染症対応マニュアルの策定がなされている。入園時より体調不良・感染時の対応は保護者に文書で周知しており、蔓延防止に対して協力を依頼している。</p>
<p>Ⅲ－１－（５）－③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。</p>	<p>a</p>	<p>消防計画が作成されており、避難訓練が計画的に実施されている。火災・地震・不審者対応等リスク別および午前中・夕方等時間帯別に行われており、万一の事態に備えている。</p>

Ⅲ－２ 福祉サービスの質の確保

<p>Ⅲ－２－（１） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。</p>		
<p>Ⅲ－２－（１）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。</p>	<p>a</p>	<p>リスクマネジメント、虐待防止、アレルギー対応、衛生等のマニュアルが整備されている。保育士マニュアルについては読み合わせをし、統一した保育がなされるよう取り組んでいる。</p>
<p>Ⅲ－２－（１）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	<p>a</p>	<p>マニュアルの見直しは年度ごとに行うことを計画している。職員向けのルールブックを策定し、多様な経験を持つ職員に一つの芯をつくることを計画している。</p>
<p>Ⅲ－２－（２） 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>		
<p>Ⅲ－２－（２）－① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。</p>	<p>a</p>	<p>年齢・領域ごとに細かくねらいが定められた全体的な計画が策定されている。またこれらを基に年間指導計画・保健計画・食育計画が立案されている。</p>
<p>Ⅲ－２－（２）－② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。</p>	<p>a</p>	<p>年・月・週の指導計画はその期ごとに評価が付されており、振り返り時期に繋げることが習慣化されている。</p>
<p>Ⅲ－２－（３） 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>		
<p>Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。</p>	<p>a</p>	<p>業務日誌・引き継ぎ簿の利用をはじめ、記録とその共有化が図れている。管理職または法人本部の確認により適切な記録となるよう指導にあたっている。</p>
<p>Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。</p>	<p>a</p>	<p>鍵付きの書庫にて個人情報を含む書類が管理されている。取り扱いについては留意し、守秘を徹底するよう指導にあたっている。</p>

評価対象Ⅳ 内容評価基準

A－１ 保育内容

	第三者評価結果	コメント
<p>A－１－（１） 養護と教育の一体的展開</p>		
<p>A－１－（１）－① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育過程を編成している。</p>	<p>a</p>	<p>全体的な計画については、ねらいと配慮点がそれぞれの年齢ごとに付されている。特色ある活動としてリトミックと英語あそびが記されており、注力した活動がなされている。</p>
<p>A－１－（２） 環境を通して行う保育、養護と養育の一体的展開</p>		
<p>A－１－（２）－① 生活にふさわしい場として、子どもが心地良く過ごすことのできる環境を整備している。</p>	<p>a</p>	<p>室温・プライバシーへの配慮がなされており、子どもたちが快適に過ごせる環境作りに取り組んでいる。ヒヤリハット報告についても事例として共有し、園全体として事故の予防にあたっている。</p>

<p>A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>子どもが過ごしやすい環境設定、一人ひとりの頑張りを認める配慮などが年間指導計画等に盛り込まれており、日々の保育で心がけられていることが理解できる。セルフチェック等により自身の行動・発言を振り返る機会も作られている。</p>
<p>A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができる環境の整備、援助を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>家庭と連携しながらトイレトレーニング・離乳食等が進められている。また食事・姿勢などについても将来を見据え、良い習慣の習得に対して注力がなされている。</p>
<p>A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p>	<p>a</p>	<p>各クラスに絵本のラックが備えられており、子どもたちが主体的に楽しめる工夫がなされている。またコーナーのつくりかた・手作りおもちゃの活用などを課題として捉えている。</p>
<p>A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a</p>	<p>一人ひとりのリズムを大切にし、落ち着いた環境の中で過ごせるよう取り組んでいる。身体を動かして十分に遊び心身の健全な発達がなされるよう保育を実施している。</p>
<p>A-1-(2)-⑥ 3歳児未満児（1・2歳児）の保育において養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a</p>	<p>なるべく特定の保育者が関わり、一人ひとりに向き合いながら保育が進められている。天候等に配慮しつつ、戸外での活動にも積極的に取り組んでいる。</p>
<p>A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a</p>	<p>他の子どもたちと共通の目的をもって達成感や充実感を味わい、刺激し合う環境をつくり、成長を見守っている。相手の感情に気づき、相手を思いやる気持ちが育つよう取り組んでいる。</p>
<p>A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a</p>	<p>行政の巡回時に指導を受け、保育の参考としている。指導事項を職員間で共有し、配慮に努めている。</p>
<p>A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a</p>	<p>水分補給等子どもたちの体調や健康に留意しながら保育を進めている。異年齢による保育時も丁寧に見守り事故のないよう取り組んでいる。</p>
<p>A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	<p>a</p>	<p>近隣の小学校からは行事に招待されるなど交流を深めている。保育要録の改訂にあわせて児童票についても見直しを図ることを検討している。</p>
<p>A-1-(3) 健康管理</p>		
<p>A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。</p>	<p>a</p>	<p>午睡時には定間隔にてチェックをし、記録が残されている。ヒヤリハット・事故報告書を備えており、子どもたちが安全に過ごせるよう対策を講じている。</p>

<p>A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。</p>	<p>a</p>	<p>定期的にて健康診断、歯科検診、体重測定が行われており、保護者への報告がなされている。保健計画が策定されており、職員・保護者・子どもの別に指導・留意事項がまとめられている。</p>
<p>A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもに対し、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>アレルギー対応のマニュアルを備えており、医師からの指示・保護者との話し合いを経て対応を図っている。トレーや器の設定・多重チェックなど安全な食事提供にあたっている。</p>
<p>A-1-(4) 食事</p>		
<p>A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。</p>	<p>a</p>	<p>プランターで野菜を栽培するなど食を身近に感じることができる取り組みがなされている。行事別食育計画が立てられており、食によって季節や伝統を感じながら子どもたちが成長できるよう努めている。</p>
<p>A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。</p>	<p>a</p>	<p>毎月給食会議を開催し、要望・食器等の確認がなされている。調理職員により日々の喫食状況も確認されており、子どもたちがどのような表情で食べているかを観察している。高年齢児については食事のマナーや姿勢について指導にあたっている。</p>

A-2 子育て支援

	第三者評価結果	コメント
<p>A-2-(1) 家庭との緊密な連携</p>		
<p>A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>連絡帳でのやりとりを通して家庭での様子を確認し、家庭と連携しながら保育を進めている。申し送り事項についても確実に伝えられるよう独自の様式を用意するなど工夫がなされている。</p>
<p>A-2-(2) 保護者等の支援</p>		
<p>A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>行政からの案内等を掲示し、保護者に役立つ情報の提供にあたっている。保護者からの意見や要望を把握し、検討している。</p>
<p>A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。</p>	<p>a</p>	<p>日々の視診や着替え時の確認を細かくし、子どもの変化を把握するよう努めている。関係機関と連携し、子どもたちが安全に生活できる環境となるよう協力を努めている。</p>

A-3 保育の質の向上

	第三者評価結果	コメント
<p>A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）</p>		
<p>A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。</p>	<p>a</p>	<p>職員による自己評価とセルフチェックがなされており、振り返る機会が作られている。またマニュアルの読み合わせ・研修の実施等により専門性の向上に努めている。</p>